

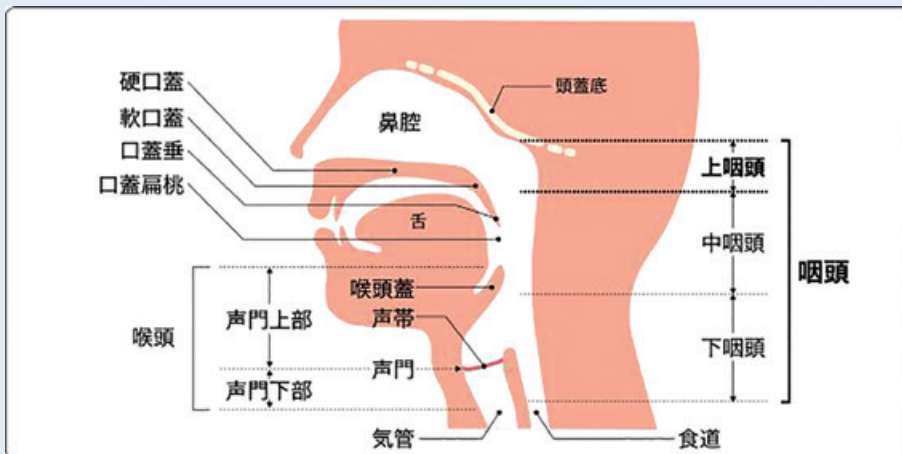
とうけい ぶ
 知ってほしい頭頸部がんのこと

いん とう
 「咽頭がんについて」

Q：「咽頭がん」について教えてください。

A：「咽頭」とは簡単に言えば“のど”ですが、のどは医学的には咽頭と喉頭に分けられます。「喉頭」は声帯を含んだ器官で発声や呼吸に関わります。「咽頭」は鼻と口の奥から食道につながる部分で、空気も出入りしますが食べ物の通り道にもなります。鼻の奥の部分が上咽頭、口の奥が中咽頭、食道の入り口までの部分が下咽頭と言って、咽頭がんはこれらの部位にできるがんです。（参照：図1）

図1. 頭頸部の構造



画像：国立がん研究センターがん情報サービス

Q：どのような症状がでますか？

A：実はあまり症状がでにくいのが咽頭がんの特徴です。進行すると「のどの違和感」や「痛み」、「飲みみにくい」、「声が出づらい」、「呼吸がしづらい」などの症状がでできます。咽頭がんは頸部リンパ節に転移しやすく、「頸部のしこり」で気づかれることも多いです。また上咽頭がんでは鼻の奥と耳の奥をつなぐ耳管が腫瘍により閉塞することで、「耳閉感」などの耳の症状がでることがあります。



Q：治療法にはどのようなものがありますか？

A：主な治療法に「手術」、「放射線療法」、「薬物療法」があります。がんの場所や進行度に合わせて治療法を検討します。治療によってのどが担っている「食べる」、「話す」、「呼吸をする」といった様々な機能が損なわれてしまうことがあります。早期がんであれば放射線療法で臓器を温存して治療することが可能です。最近では内視鏡などを用いてなるべく機能を温存する形で口から咽頭がんを切除することも可能となってきました。

Q：咽頭がんになりやすい要因はありますか？

A：発がんリスクとなるのは他のがんと同様に、「喫煙」と「飲酒」です。特に下咽頭がんは強い関係があります。上咽頭がんは若い人にも多く、発がんの原因に「EBウイルス」が関与していると言われています。中咽頭がんは近年比較的若い人に増えてきていて、「ヒトパピローマウイルス」が原因である割合が増加しています。このウイルスは子宮頸がんや肛門がんの原因にもなります。



Q：普段から気をつけることや予防法はありますか？

A：「長びくのどの症状」や「頸部のしこり」が気になるときは早めに耳鼻咽喉科を受診してください。予防としてはお酒とタバコを控えること、若い女性であれば「子宮頸がんワクチン」の接種をお勧めします。中咽頭がんの発生を抑える効果も指摘されており、海外では若年男性にも接種が広がっています。（※日本では男性にも適応が拡大されましたが現時点では保険適外です。）



西村先生から
ひとこと



耳鼻咽喉科・頭頸部外科
部長

にしむら ぶんご
西村 文吾

咽頭がんを含む耳鼻科領域のがん、「頭頸部がん」はあまり皆さんに知られていない病気だと思います。頭頸部がんは全身のがんの約5%といわれていますが、日本では年間約27,000人が発症し、死亡者数は8,500人以上に上ります。がんの治療は早期発見、早期治療が重要です。のどの症状が長びいたり頸部のしこりを感じた際は早めに耳鼻咽喉科を受診してください。治療は大変ですが、私たちも根治を目指し、なおかつ機能を温存して生活の質（QOL）を維持できるような治療を提供していきます。いけるよう全力を尽くしていきます。